



【2020年度を振り返って】

皆様、いつも「みのエネ」の事業と活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、いよいよ3月となり2020年度の締め月となりました。2020年度を振り返ってみると、何よりも先に「コロナ」というキーワードが浮かんできます。私自身、このコロナ禍において色々と考えさせられる事も多くありました。しかし改めて振り返ってみると「コロナで変わった」という事はあまり多くないような気がします。すでに2015年に「SDGs（持続可能な開発目標）」が国連で採択され、「Society5.0」をはじめ、「地域循環共生圏」「サーキュラーエコノミー」などの言葉が使われるようになり、すでに世界は変わり始めていましたし、「変わる必要」がありました。コロナ禍において、リモートワークが進み移動が減り、遠くへの移動が制限され足元の価値に目が向くようになり、健康をはじめ人間の生き方を考えるようになりました。コロナ禍という逆境をチャンスに変えているような会社の人の話を聞くと、多くの方が「コロナより前から準備していた」「それが加速しただけ」というような言葉をよく聞かれます。すでに「地方創生」という言葉が叫ばれはじめて久しくなります。私も、「みのエネ」をはじめ「美濃を元氣にする」という一心で色んな地方創生事業に取り組んでおります。このコロナ禍は「地方創生」にとって必ず大きなチャンスとなります！つまり地域電力会社のある美濃市は他の地方よりそのチャンスを掴みやすい状況です。2020年度をきっちりを終えて、来年度以降の美濃の地方創生を多く加速させたいと考えております。引き続き、皆様からご協力を賜ると共に、皆様と一緒に地域を元氣にして参りたいと思います。

みの市民エネルギー株式会社
代表取締役 辻晃一



生ごみが世界を救う！？

皆さんは毎日、食卓から出る食べ残し等の生ごみはどうしていますか？きっと多くの方がそのままゴミとして捨てているのではないのでしょうか。でも実はSDGsの観点からすると生ごみは「宝の山」と言われています！！それは生ごみを堆肥にすることで「資源」を作りだせるから。そこで注目されているのが「コンポスト」。

家庭で出る「生ごみ」を堆肥化して、その堆肥を野菜作りやガーデニングに活用して資源を循環させよう！という取り組みです。美濃市内の畑でよくみかける生ごみ処理機もコンポストの一つ。ただ、置き場所がなかったり、匂いや虫問題で手軽に取り組めるものではありません。

今では電気式の生ごみ処理機や段ボールコンポスト、匂いや虫がつきにくく、マンションや一人暮らしの方でも気軽に取り組めるコンポスト機材も販売されています。美濃市でも電気式生ごみ処理機を購入する際の補助制度が整備されています。そういった制度を活用しながら「住み続けられる街づくり」に取り組んでみてはいかがでしょうか。



～美濃市で利用できる補助制度～ ※美濃市HPより抜粋
美濃市では生ごみの電気式処理機を購入される方に補助金を交付しています。

【補助対象者】
市内に住所を有し居住している方で1世帯1台です。
なお、過去に電気式処理機を購入し破損等なった場合、補助金交付後5年経過していれば買い替え可。

【補助金の額】
処理機を購入に要する費用の2分の1以内(限度額20,000円)

<今月のNews >



4/1みのエネプラザopenに伴い内覧会が開催されます！

【日時】3月27日（土）10：00～16：00

【申込】不要

※その他詳細は美濃市役所にお問合せください

<お知らせ>

電気代の請求書をペーパーレスにすると
毎月の電気代から100円割引に！

環境のためにもペーパーレス始めませんか？ お申し込みはJ-Fly⇒



停電の際は中部電管内託送部門 0120-985-232 にお電話ください

現在のご契約件数 166件 280本 5,543kw